

神奈川県自然環境保全センター
 かながわパークレンジャー
 TEL 046-248-6682

「丹沢・登山道巡視報告」

暖冬の影響か雪の少ない状況が続いていましたが、3月3日夜から未明にかけてまとまった雪が降りました。4月初めまでは雪が降る可能性があります。雪山装備を忘れずに！

●経ヶ岳(633m)

H21年2月28日(土)



冬眠中のヤマビル

<登山道情報>
 北側標高500m以上で
 薄い積雪有り。

<自然情報>
 花：ヒメウス・ヨゴレネコノメ



ミツマタ(700m付近)

<他>
 葉の裏で冬眠中?のヤマビル発見。
 体温で暖めると動き出しました。
 (注：自然の状態では活動はまだ先です)

●世附権現山(1018.8m) 細川橋 - 二本杉峠 - 世附権現山 - 浅瀬入口

H21年3月4日(水)



権現山直下の急傾斜

<登山道注意点情報>

- *このコースは登山道が不明瞭で、初級者は通行不可です。
- ・権現山頂は積雪10cmでした。
- ・湿り気の多い雪のため、登山道が滑りやすくなっています。
- ・細川橋 - 二本杉峠間は、一部の道幅が狭く注意が必要です。
- ・権現山直下は急傾斜でたいへん足場が悪く、通行には注意が必要です。
- ・このコースの登山にはアイゼンを携行してください。

<自然情報>

- ・ミツマタ開花状況：標高500m付近 5~6割開花、標高700m付近2割開花(左写真)

環境省 箱根ビジターセンター

【〒250-0522足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
 TEL 0460-84-9981】

もよおし案内

箱根の自然に親しむ運動

●特別展「環境問題パネル展・国立公園箱根の今昔」

いまむかし

実施日：平成21年 3月7日(土)～4月19日(日)

環境問題について広く紹介した20枚のパネルを展示します。今問題になっていること、一人一人でできることは何かを紹介します。国立公園としての箱根にスポットをあて、箱根の今と昔を展示します。箱根の景観の今と昔を写真で比べたり、さらに、今箱根で活躍している人々や、その取り組みを紹介します。

内容…美しい自然、生物多様性、地球温暖化とは何か(ベレットストーブの紹介) 3Rとは何か(風呂敷の包み方、間伐材パズルなど)、国立公園箱根の今昔、箱根の昔と今～写真で比べよう、躍する人々の取り組み紹介(パークボランティア、外来植物駆除、登山道補修)

開催場所…箱根ビジターセンター内 多目的ホール

協力…箱根町郷土資料館

●「箱根の滝めぐり」

実施日：平成21年 5月30日(土)

箱根を代表する滝と新緑の森で初夏の花や生きものたちを観察してみませんか。

コース：畑宿～飛龍ノ滝～
 鷹巣山～千条ノ滝～小涌園



千条ノ滝

募集人数：小学生以上50名
 (小学生は保護者同伴)

集合：小田原駅 8時30分

解散：小田原駅 16時頃

参加費：大人1人2600円、小人1人1400円(往復バス代・資料代、保険代)

締切：5月8日(金) *応募者多数の場合は抽選

申込方法：往復はがきに、行事名、参加者全員の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記して、箱根ビジターセンターへ締切日必着でお送りください(詳しくは返信でお知らせします)。

主催：箱根の自然に親しむ運動実行委員会
 (環境省・神奈川県・箱根町・(財)神奈川県公園協会・自然公園財団箱根支部)

編集・発行 財団法人 神奈川県公園協会自然公園課 後援：丹沢大山自然再生委員会
 〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階
 TEL：045-651-0931(都市公園課・自然公園課) FAX：045-651-0932
 自然公園課：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ http://www.kanagawa-park.or.jp/
 この通信を上記のホームページで見ることが出来ます。

2009
 3月号
 No.66

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬組廣瀬自然公園 富士箱根伊豆国立公園

箱根ビジターセンター
 足柄下郡箱根元箱根旧札場164
 TEL 0460-84-9981



春霞の富士山(大涌谷より)

「春霞の富士山」

この冬の箱根は暖冬で、積もるほどの雪が降ったのは今のところたったの1回のみ。2月に入ってから晴天と雨天が交互に訪れ、下旬には連日の雨模様ともうすっかり春の気象です。個人的な話で大変恐縮なのですが、先日、千葉県銚子市犬吠崎へ泊りがけで行って来ました。太平洋の絶景を期待していたのですが、やはり雨天で、しかも見渡す限りの濃霧。近くの観光施設に勤務する人も「今の季節でこんな霧が出るなど考えられない」との事。止まらない地球温暖化による異変なのでしょうか。

その日本最東端の犬吠崎からも、快晴時ならば遠望できる富士山。暖かいこの冬も、白雪映える美しさで、遠くから近くから人々の心をとらえています。

富士山の姿を間近に望むことができる箱根、写真は昨年3月11日に大涌谷から撮影したもので、これから4月頃にかけての晴天時には、気温の上昇でなんとなく霞んだ富士山が御覧頂けることでしょう。

この景色が見られたら冬も終わり、いよいよ春の自然の競演がはじまります。

(加藤)

丹沢湖ビジターセンター
 足柄上郡山北町玄倉515
 TEL 0465-78-3888



フキノトウ 雄株の花



フキノトウ 雌株の花

「知ってるつもりでも」

知っているつもり・見ているつもりでも、あらためてじっくり見てみると、感心してしまうことがたくさんあります。そう感じさせてくれたのは、地面からひょっこり顔を出しているフキノトウでした。

「フキノトウには2種類の花があるんだよ。」
 フキノトウはフキという植物の花と花の茎の入った部分です。フキノトウは毎年のように観察していたつもりだったので、その言葉は私にとって衝撃的でした。

図鑑を調べてみると、『フキには雄株と雌株があり、雄株のフキノトウは星型の白い花びらが目立つ花、雌株は白い糸状の雌しべの目立つ花を多数咲かせます』と確かに書かれています。

花が咲くのを待って観察しに行ってみると、そこには本当に2種類の花があり、しばし感心して見入ってしまいました。「見ているようで、案外見えていないものだなあ。」と反省する反面、見慣れたものにもまだまだ発見があることにワクワクもします。

センター周辺では、今年もフキノトウの花が開きはじめました。2種類の花、まだ見ていない方はぜひどうぞ！

(原島)

秦野ビジターセンター
 秦野市堀山下1513
 TEL 0463-87-9300

「足元に春を感じ始めたある日の出来事」

地面を盛んに突っついては嘴が動き、また別の場所へ歩いているジョウビタキ。そんな行動を何回か繰り返していたある瞬間、その嘴には大きな幼虫。“これを探していたのかあ。よく見つけるなあ”と感心している間にあっという間に完食(丸呑み)。

そして幼虫を食べた直後にも関わらず、ひらひらと飛んでいくチョウを石の上からじっと目で追いかけていきます。“もしかして狙っている?”と思った瞬間、チョウに向かって猛スピードでアタック。チョウはジョウビタキの嘴に…。しかし、嘴のちょっとした隙間から逃れたのか、地面でバタバタともがくチョウ。



ヒヨドリ

すると、今度はなんとヒヨドリがチョウめがけてダイブ！しっかりとチョウを嘴にくわえて飛び去ってしまいました。ジョウビタキが幼虫をとらえてから約1分、あっという間の出来事でした。

ちょっと残酷かもしれませんが、これがイキモノの世界。春の訪れとともに目覚めたイキモノたち、そして冬を生き残ってきたイキモノたちの生きるための厳しさを感じた瞬間でした。

(篠島)



ジョウビタキ

宮ヶ瀬ビジターセンター
 清川村宮ヶ瀬940-15
 TEL 046-288-1373

「梅が咲く前の梅の花」



花に近づいてみると

神奈川県内から桜の便りが届く前、宮ヶ瀬周辺では桜が咲き始めます。この文章では意味がわかりませんね。

ここで少し桜のお話を。

私たちが普通、桜とよんでいる種類はバラの仲間です。ところが桜と名前がついていながら、全く別の仲間の植物があるのです。例をあげると、イワザクラはサクラソウの仲間、シバザクラはハナシノブの仲間などがあります。



遠くから見ると

今回、ご紹介するのは、フサザクラという樹木です。この種類はフサザクラの仲間に分類されており、中国と日本に1種類ずつしかありません。神奈川県では、箱根・丹沢・陣馬などのちよつと湿った沢沿いなどでよく見られ、平地ではあまり見ることはありません。

フサザクラは宮ヶ瀬ビジターセンターから歩いて約3分の場所に生えています(早戸川林道入口付近)。桜前線が神奈川県に届く前の3月中旬から紅色の花をつけるので是非お越しください。

観察の際には花の形にご注目を。ソメイヨシノなどの桜と形が全然違いますよ。

(青木)

陣馬自然公園センター
 藤野町佐野川1659-3
 TEL 0426-87-5270

「マンサク咲く頃」

「和田地区と鎌沢地区」の茶畑が冬枯れの景色の中でひととき目立ちます。

「にほんの里100選」に選ばれたこの茶畑は、山の斜面を切り開き土が流れないように石垣を築きあげ、そこに造成され今日まで至っています。春に向け、これから少しずつ茶畑や土蔵の撮影・スケッチに訪れる方々も増えることでしょう。

(荒井)

例年ですと陣馬山頂は雪が降り積もっている時期ですが、今季は気温が高いせいか雪も融けるのが早く、乾燥しています。登山者や家族連れなどには歩きやすくなっているため例年に比べ賑わっています。山頂では早くもマンサクが満開となっています。

また、木をつつくコゲラ、木の実をついばむアトリ・カラヒワが群れで飛んでいます。

センター周辺では早くも春を待っていたかのようにタチツボスミレが咲き始めました。

また、山火事と見間違ふほどのスギ花粉が風に吹かれ舞い上がっています。



タチツボスミレ



陣馬山の山頂